

社会貢献・地域連携等の推進（2017年度）

（1）大学・短期大学部公開講座の実施

各学部・学科の特色を生かした「実践女子大学・実践女子大学短期大学部公開講座」を6講座実施することにより、地域の生涯学習に寄与しました。

＜渋谷キャンパス＞

学部・学科	日時	タイトル	参加者数
文学部 国文学科	源氏物語のたのしみかた	10月14日（土）／第1回 講演会	104名
		10月28日（土）／第2回 講演会	138名
		10月6日（金）、27日（金） ／ワークショップ	各30名 （定員制）
		10月2日（月）～28日（土）／展覧会	延べ1,133名
文学部 美学美術史学科	ヨーロッパのクリスマス 文化と美術・音楽	12月16日（土）／講演会	51名
		12月13日（水）～21日（木）／展覧会	約300名

＜日野キャンパス＞ 生活科学部共通テーマ「暮らしを楽しむ・暮らしを考える」

学部・学科	日時	タイトル	参加者数
生活科学部 食生活科学科	健康に過ごすための食事と運動の工夫	10月21日（土）／講演会	27名
生活科学部 生活文化学科	こころとからだの科学	10月26日（木）／講演会	15名
生活科学部 現代生活学科	実践！プログラミング教育	10月28日（土） ／講演会、ワークショップ	13名
生活科学部 生活環境学科	所変われば品変わる ～南欧にみる生活環境学～	11月4日（土）／講演会	23名

（2）大学生涯学習センターによる生涯学習の推進

本学の教育資源を有効に活用し、広く社会人の生涯学習に寄与する教養講座等を開講しました。日野キャンパスでは、今年度開講講座数74講座（新規7講座を含む）、受講者数1280名でした。渋谷キャンパスでは、16講座（新規6講座を含む）、受講者数272名。2キャンパスの総受講者数は1,552名で、昨年に比べ229名増となりました。

また、日野市中央公民館との連携による日野市民向け講座「ひの市民大学『大学連携コース』」では、前期「百人一首入門」5回、後期「論語入門」5回を開講し、合計107名の市民の方が受講しました。

（3）日野市、渋谷区、恵那市との地域連携活動

地域連携推進室が窓口となり、協定を結んでいる自治体との連携事業を行いました。

①東京都日野市

美学美術史学科・生活環境学科の教員・学生が参画する「和モダンテイストのまちづくり」として、デザイン暖簾の追加設置（公民館・保育園等）や日野駅東口壁面塗装のデザイン提案を行いました。また、現代生活学科の学生が、公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩が主催する「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017」の本選大会に出場。日野市における「持続可能なコミュニティカフェの展開」をプレゼンテーションし、奨励賞を受賞しました。

②東京都渋谷区

コミュニティ FM「渋谷のラジオ」に大学・短期大学部の学生ボランティアが出演し、本学の取り組みや女子大生から見た渋谷の街と文化の紹介を行いました。また、中学校高等学校生徒が、渋谷の地域清掃の一環として「スポーツごみ拾い」を年2回行い、地域ぐるみの活動として大きな成果を収めました。

③岐阜県恵那市

エッセイ・短歌の公募賞「下田歌子賞」の開催や、「恵那市民大学」への講師派遣（4名）を行いました。また、3月に岩村町で行われた「ひな祭りオープニングイベント」に2017ミス実践女子大学の学生を派遣しました。

（5）大学図書館の地域連携活動

日野市立図書館と締結した相互協力協定に基づき、7月27日、本学において「日野市立図書館ヤングスタッフ」（日野在住、多摩地区在学の学生を中心とした読書推進グループ）との『本の交流会』（フリートーク、図書館見学会）を実施しました。

（6）産学連携活動等の実施

企業、他大学等の学外機関と連携した研究活動の活性化を目的として、企業との面談を積極的に行うなどの取り組みを行いました。2017年度の実施実績数は、受託研究5件、共同研究6件、寄付研究（学外助成含む）6件、研究費受入総額は976.5万円でした。

また、2017年12月20日に公益財団法人日本相撲協会と包括的連携協力に関する協定を締結し、産学連携を開始しました。学生による日本相撲協会公式グッズのデザイン開発をはじめとした、本学の持つ研究的資源を相撲文化の発展に活かそうという取り組みがスタートしました。

（7）大学間連携の実施

渋谷では、2017年12月19日に、青山学院大学、國學院大學、実践女子大学、聖心女子大学の4大学で連携・協力に関する基本協定を締結しました。各大学の発展と多様な価値観に基づく新たな価値の創造に寄与することを目的として、連携協議会を設置し、検討をはじめました。

日野では、日野市大学連携事業として日野市の「第51回産業まつり」、明星大学「第52回星友祭」、本学「第61回常磐祭」のスタンプラリーを実施し、745名の参加がありました。

（8）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携

学生や教職員が行うオリンピック・パラリンピック関連活動を組織的に推進するため、学長室に2018年1月1日に「オリンピック・パラリンピック連携事業推進室」を設置しました。推進室は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や地域・企業、他大学との連携ニーズを把握し、本学としての企画・立案を行うほか、学生・生徒・教職員による関連活動への支援などを行います。